

次年度、新世代の委員長に任命されて
おります。来年度はライラの開催ホス
トクラブ等、色々行事がありますので、
自分なりに大変だろうと思っております。

ライラは来年の5月開催ですが、これ
から、色々会合を持ち、成功に向けて、
皆様と共に、頑張りたいと思います。

青少年問題が昨今、とりざたされてお
り、新世代委員会がロータリーでも重要
な位置になっていると思います。

皆様の御協力を仰ぎながら、何とか、
来年度、責務を全うしたいと思ってお
ります。

本当にこの1年間、有り難うございま
した。来年度もよろしく！！

☆出席報告

委員長代理 田村勝二君

会 員 数	27名
例 会 出 席 者	20名
出 席 率	74%
メークアップ者数	4名
修正出席率	89%
欠 席 者 名	宮原、藤田、林(卓)

☆親睦委員会

委員長 吉田康一郎君

皆様 今晚は
福井会長、本当に1年間御苦勞さまで
ございました。

福井会長のもとで、親睦委員長、並び
に幹事代行をしましたが、色々楽しい思
い出を作ることができました。

1年間御協力、ありがとうございました。

さて、先々週より、歯車会の案内を致
しておりますが、先日担当クラブの高鍋
ロータリクラブより、参加者は何名にな
りましたか？新年度初めての会ですので、
3RC（佐土原、高鍋、西都）の顔合わ
せの会にしましょう…との電話をいた
だきました。

高鍋RCの方でも準備の都合があるよ
うですので、前回、歯車会に参加された
方を一応登録したいと思います。

何かありましたら、吉田まで連絡下さ
い。

☆会員増強委員会

委員長 藤堂孝一君

先週お知らせしました、加藤会員推薦
の、中原真二氏(輻44材)

勤務先 (株)JES

(光ファイバー、精密
機械の製造)

取締役工場長

入会の諸書類を選考委員会に渡してお
ります。

多分、新年度最初の例会(7月5日)で入
会式ができると思います。

1年間、会員増強委員長の命を受け、
何とか任期を終えることが出来ました。
会員の皆様には、増強に色々御協力頂
き、ありがとうございました。

厚くお礼申し上げます。

☆はっぴい ママスクール

郡司 武俊 君

1. 妊産婦の口腔の特徴と歯科的問題

妊娠による身体的変化や、生活習慣の変化により、妊娠中は、口の中も影響を受けやすい。即ち、体のホルモンの影響や、口の中の清掃が悪くなることで、唾液のでかたや性状の変化、歯の汚れや口腔内細菌叢に変化が生じやすい。これらに関連して、歯科的問題が見られやすい。

①むしば(齧蝕 うしよく)

妊娠期には、一般に虫歯が出来やすく、また、増悪しやすいといわれています。これは口の中の環境の変化と関係があるといわれますが、実際には、食生活や口の清掃と関連が高いようです。

②歯ぐきの腫れ(歯周疾患)

妊娠中には、歯ぐき(歯肉)の腫れや出血がみられることがあります。一般に前歯の多く、下の歯より上の歯に多くみられる。妊娠による体の変化と考えられ、妊娠2~4ヵ月頃から起こりやすく、出産後にはよくなるようです。
：妊娠性エプーリス・慢性辺縁性歯肉炎

③口内炎(口腔粘膜疾患)

妊娠時には、口内炎や唇(特に口角)のびらんが生じやすい。これは、妊娠による体の変化や、ビタミンの不足、口の中の清掃不良が原因といわれています。

2. 妊産婦の歯の治療

一般的な歯の治療は、積極的に受けて

問題がないといわれています。

①レントゲン(放射線)

歯の治療のための診断用撮影では殆ど問題はありません。ただし、必要以上に撮影すべきではなく、また、撮影の際には、下腹部~骨盤部にプロテクターを用いて貰うようにしましょう。

②麻酔注射(局所麻酔)

歯の治療に用いられる麻酔は殆ど問題はありません。ただし、妊娠中は少し敏感になっていることがあるので、途中で気分が悪くなったりしたら、速やかに伝えましょう。これは、歯の治療の最中でもいえることです。

③薬(抗生物質・鎮痛剤)

薬は、できるだけ飲まないほうがいいといわれますが、必要な場合もあります。相談して、安全とされる薬をだしてもらいましょう。

3. 胎児の特性

妊娠6週目頃から、お腹の中の赤ちゃんの歯はできはじめます。10週目までには20本の乳歯の芽(歯胚)の全てが赤ちゃんの顎の中で次々とできてきます。即ち、お母さんが妊娠に気づいて、栄養や健康に気をくばりだすころには、既に子供の歯のもとはでき始めています。妊娠4ヵ月半位になると、乳歯の芽もかなり成長して、カルシウムを主として固まって、歯の形を作ります。同時に、永久歯の一部、6歳臼歯(第一大臼歯)や下の前歯の芽も出来始めます。

妊娠中は、家の中で過ごすことが多く、間食が増えたり、ついインスタント食品に頼ることも多くなりがちですがインスタント食品やスナック菓子、清涼飲料水などに多く含まれている、食品添加物のリン酸塩は、体内で一定量を過えると、カルシウムと結合して体外に排出され、カルシウム不足を引き起こすといわれます。